

## 高橋 美博 議員

### 原子力災害広域避難計画 策定の状況は

**問** 昨年、今年と実施された原子力防災訓練で得た問題点・課題は何か。

**答** 受信した情報から事故状況を的確に把握するためには専門的知識が必要なこと、市民へわかりやすく情報を伝達するためには時間がかかること、防護資機材や線量計等の取り扱いがスムーズにできず定期的訓練が必要なこと、災害時の移動手段の確保や統制の取れた避難誘導を行うには周到な準備や綿密な調整が必要なこと、安定ヨウ素剤の配布や服用のタイミングが難しいことなど様々課題がある。

原子力防災に関し、早く、遠くに逃げる、放射性物質を遮へいするといった被ばく防護の原則や、避難の基準に基づく避難方法などの基本的知識を職員・市民に周知し、より実践的な訓練を重ねる必要がある。



袋井市安定ヨウ素剤調製研修会 (H24)

**問** 検討中の避難計画の交通手段・避難経路は。全住民避難に要する時間はどうか。

**答** 統制が取れた避難を基本に、自家用車の使用を原則とし、自治会単位で順に、国道や県道、高速道路を使って避難するといった条件でシミュレーションを行っている。避難先やスクリーニングポイントが明らかとなっていないので、避難に要する時間は、今後県と調整し、具体的に検討していきたい。

## 岡本 幹男 議員

### 市税等収納対策の 取り組みは

**問** 従来の所管別管理の再検討など合理化策の検討は。

**答** 実務上の制約があり、基本的には、従来通り、所管別管理とする。しかし、市税等収納対策本部や関係各課の連絡会により、収納対策の強化を図っていく。



### 障害者福祉の充実強化の 取り組みは

**問** 障害者の住環境を整えるため空き家の転用を含め、グループホーム増設等の充実強化はできないか。

**答** 平成29年度までに、グループホーム整備促進のため2カ所増やす計画でいる。また、空き家などの民家を転用する際には、市の単独事業として工事費用の一部負担を検討していきたい。

## 袋井市とベトナムとの 交流促進を

**問** 浅羽佐喜太郎の業績がテレビ放送され、関心が高まっている。案内施設の充実が実現できないか。

**答** 現在、近藤記念館で、パネル展示とパンフレット配布を行っている。今後は、ベトナム語・英語併記の看板と、浅羽東公民館への展示コーナー設置を行っていきたい。



浅羽佐喜太郎公記念碑の説明板